

第 175 回 学長定例記者会見

日時：令和 7 年 1 月 28 日（火）11：00～11：30

場所：メイン会場：広島大学東広島キャンパス 法人本部棟 5 階 5F2 会議室

サブ会場：広島大学霞キャンパス 臨床管理棟 3 階大会議室

※サブ会場は、テレビ会議システムによるオンライン参加

※ 会見終了後、YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」第 1 回シンポジウムを開催します（2/28 開催）
2. 教育学部・造形芸術系コースの学生が制作した作品を展示した電車が広島市内を走ります！～広島電鉄株式会社の「走る美術館」企画に参画～
3. マスコットキャラクター「ひろティー」のぬいぐるみを 1 月から販売中！

【お知らせ事項】

1. 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」の取組に関する報告
2. 「地方大学における理工系女性研究者が働きやすく働きがいのある研究環境づくりのための調査分析」令和 6 年度総括シンポジウム「提言書の実現へ向けて」を開催します（3/4 開催）
3. 「放射線災害・医科学研究拠点」が国際シンポジウム・ワークショップを開催します（2/19、20 開催）
4. 森戸国際高等教育学院 西條結人 准教授がキルギス国立総合大学学長表彰を受賞しました

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和 7 年 2 月 20 日（木）

場所： 広島大学 霞キャンパス



第 175 回 学長定例記者会見 発表事項 1

令和 7 年 1 月 28 日

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」
第 1 回シンポジウムを開催します（2/28 開催）

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」に採択されました。

本事業を通じて、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に希少な紫外線（UV）領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進するとともに、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムの形成を目指し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

このたび、本事業における本学の取組みを広く発信するとともに、関係機関やステークホルダーの皆さま方と「地域中核大学」の将来像を共有するため「地域に愛され、世界から選ばれる大学の実現に向けてーJ-PEAKS を通じた Hiroshima Research & Innovation Valley の構築ー」と題するシンポジウムを、来る 2 月 28 日（金）に開催いたします。

皆さまのご参加をお待ちしております。

日時：2025 年 2 月 28 日（金）13:00-17:00

会場：広島大学霞キャンパス 凌雲棟 5F

開催形式：ハイブリッド

対象者：国内外の大学関係者等、J-PEAKS の取組みに興味のある方

使用言語：日本語（一部講演のみ英語 ※同時通訳あり）

参加費：無料

定員：会場 400 人・オンライン 400 人

申込み：チラシに記載の参加登録フォームからお申し込みください。

申込期限：2 月 6 日（木）

プログラム：

13:20～ 基調講演

13:35～ J-PEAKS を通じた本学のビジョンおよび取組の説明

13:55～ 重点拠点等の取組事例紹介

15:05～ パネルディスカッション

※詳細内容については、添付しておりますチラシをご覧ください。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室

未来共創科学研究本部

研究戦略部 研究戦略グループ 前田

TEL:082-424-5656

Mail: gakujutu-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp



広島大学



神戸大学



JSPS



J-PEAKS

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）
第一回シンポジウム

地域に愛され、世界から選ばれる 大学の実現に向けて

—J-PEAKS を通じた Hiroshima Research & Innovation Valley の構築—

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」に採択されました。本学は、半導体、超物質、再生・細胞医療、創薬の融合研究領域を中心に、世界的に希少な紫外線（UV）領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムの形成を目指し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。今回、本事業の取組みを広く発信するとともに、参画機関やステークホルダーの皆様方とのパネルディスカッションを通して「地域中核大学」の将来像を共有したいと思います。ご関心のある方は、是非、ご参加ください。

参加申込
フォーム



<https://x.gd/NcjZl>

締切 2025 年 2 月 6 日

2025

2/28 FRI

13:00 ▶ 17:00 (受付開始 12:30)

参加費無料

要事前申込

広島大学霞キャンパス 凌雲棟 5F

〒734-8553 広島県広島市南区霞 1-2-3

開催形式

ハイブリッド ※後日 YouTube 配信

使用言語

日本語・一部講演のみ英語（逐次通訳あり）

対象者

どなたでも参加可

定員

会場 400 名・オンライン 400 名

会場までのアクセス

広島駅から

- バス約 15 分
広島駅南口（4 番のりば）→「大学病院前」下車
- タクシー約 10 分

広島空港から

リムジンバスで広島駅まで約 45 分

※駐車場には限りがございますので、
公共交通機関をご利用ください。



主催 | 国立大学法人 広島大学

共催 | 国立大学法人 神戸大学

お問合せ | 未来共創科学研究本部 研究戦略部
E-Mail: husympo@hiroshima-u.ac.jp

HIROSHIMA × J-PEAKS
Website

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/research/J-PEAKS>



地域に愛され、世界から選ばれる 大学の実現に向けて

—J-PEAKS を通じた Hiroshima Research & Innovation Valley の構築—

プログラム

司 会 宮崎 誠一 広島大学理事・副学長（研究担当）

13:00 開会挨拶

越智 光夫 広島大学学長



14:55 休憩（10 分間）

15:05 パネルディスカッション

地域に愛され、世界から選ばれる 大学の実現に向けて

—J-PEAKS を通じた Hiroshima Research & Innovation Valley の構築—

13:05 来賓挨拶

高垣 廣徳 東広島市長 ※ビデオメッセージ

先崎 卓歩

文部科学省 科学技術・学術政策局 科学技術・学術総括官

藤澤 正人 神戸大学学長

司 会

宮崎 誠一 広島大学理事・副学長（研究担当）

パネラー

[J-PEAKS伴走チーム]

財満 鎮明

名城大学大学院理工学研究科教授／伴走チームサポーター

島田 昌之

広島大学大学院統合生命科学研究科教授／伴走チームリエゾン

[広島大学]

金子 慎治

広島大学理事・副学長（グローバル化担当）

／Town&Gown Office 室長

[地域]

龜山 豊 PSIバイオロジックス株式会社 代表取締役社長

[産業]

野坂 耕太

マイクロンメモリジャパン株式会社 技術部門 シニアダイレクター

調整中（創薬業界）

13:20 基調講演

濱口 道成

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

先進的研究開発戦略センター

（SCARDA）センター長

／J-PEAKS 伴走チーム 首席サポーター



13:35 J-PEAKS を通じた本学のビジョンおよび
取組の説明

宮崎 誠一 広島大学理事・副学長（研究担当）

13:55 重点拠点等の取組事例紹介

広島大学半導体産業技術研究所

寺本 章伸 研究所長

広島大学放射光科学研究所

島田 賢也 研究所長

広島大学持続可能性に寄与するキラルノット
超物質拠点（WPI-SKCM²）

イワン スマリユク 拠点長

広島大学 PSI GMP 教育研究センター

田原 栄俊 広島大学副学長（産学連携担当）

神戸大学連携

松山 秀人 神戸大学先端膜工学研究センター長

16:45 総評

濱口 道成

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

先進的研究開発戦略センター（SCARDA）センター長

／J-PEAKS 伴走チーム 首席サポーター

16:55 閉会挨拶

宮崎 誠一 広島大学理事・副学長（研究担当）

令和 7 年 1 月 28 日

教育学部・造形芸術系コースの学生が制作した作品を
展示した電車が広島市内を走ります！
～広島電鉄株式会社の「走る美術館」企画に参画～

広島電鉄株式会社は、路面電車を丸ごとギャラリーと見立てた車両の中に芸術作品を展示しながら運行する「走る美術館-HIRODEN ART TRAM-」の運行を、2024 年 11 月 23 日から開始しました。

日常的に営業運転を行う路面電車の車内に通年で芸術作品を展示しながら運行するのは、日本で初めての取組です。

広島大学教育学部造形芸術系コースは、広島電鉄からの依頼を受けて、「走る美術館」第一弾企画である「4 校合同学生展」に参加します。この「4 校合同学生展」は、2024 年 11 月から 2025 年 3 月までの期間に、広島市立大学、広島市立基町高校、広島市立沼田高校、本学の順で展示されます。本学は、2 月末から 1 ヶ月間、同コースの学部 1 年生から大学院博士課程後期 2 年生まで合計 18 人の作品（絵画、彫刻、工芸、造形芸術学に係るパネル等）約 50 点（いずれも画像）を展示します。

この企画に参加することで、本学、教育学部および本コースのプレゼンスを高め、また参加する学生にとっても、卒業制作展や自主的な展覧会の他に、広く一般に研究成果（作品等）を発表できる機会を得ることになるため、高い学習効果が期待できます。



車両外観（グリーンムーバーLEX）



車内イメージ

【お問い合わせ先】

教育学部・造形芸術教育学資料室（E106・後藤）
責任者（コース主任） 一 鍬田 徹（ひとくわだ とおる）
TEL・FAX：082-424-7140



広島電鉄

走る美術館

HIRODEN ART TRAM

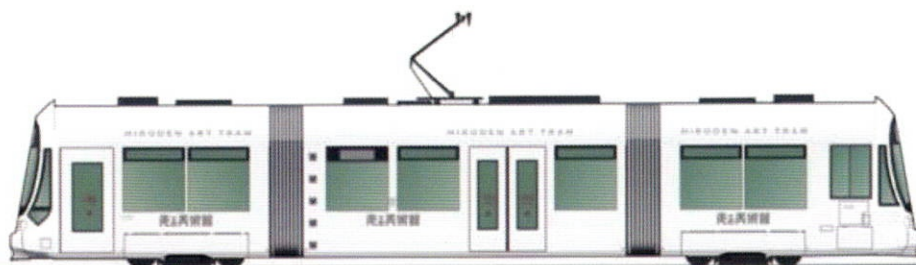
4校合同学生展

～あなたに褒められたくて～

●参加校●

広島市立大学 芸術学部	2024.11～2024.12
広島市立基町高校 創造表現コース	2024.12～2025. 1
広島市立沼田高校 美術・書道	2025. 1～2025. 2
広島大学 教育学部 造形芸術系コース	2025. 2～2025. 3

運行区間：広島電鉄市内線(通常営業車両と同様に運行)



詳細はこちら
(HPサイト)

主催:広島電鉄株式会社 共催:広島市
問い合わせ:082-242-3549 走る美術館HP:<https://www.hiroden.co.jp>

「走る美術館」の運行について

2024.11.20掲載

広島電鉄では、“わざわざ乗ってみたい電車”、“おでかけしたくなるような電車”を目指して、路面電車を丸ごとギャラリーと見立てた車両の中に芸術作品を展示しながら運行する「走る美術館-HIRODEN ART TRAM-」の運行を開始します。

走る美術館

HIRODEN ART TRAM

文化・芸術作品をもっと身近に感じて頂きたい。それが走る美術館です。

コンセプト

- 01 文化・芸術作品と身近に触れ合う「まちの広場」としての美術館になります。
- 02 広島ワクワクを創造し、元気なまちづくりに貢献する美術館を目指します。
- 03 広島の未来を支えるこども達をはじめ、多くのみなさまと共に成長・発展する美術館活動を展開します。

運行区間

広島電鉄市内線 通常営業車両と同様に運行



携帯電話のご利用マナーにご協力ください。また歩きスマホはご遠慮ください。優先席付近では混雑時には携帯電話・スマートフォンの電源をお切りください。

展示作品

現在の展示作品

➤ 4校合同学生展

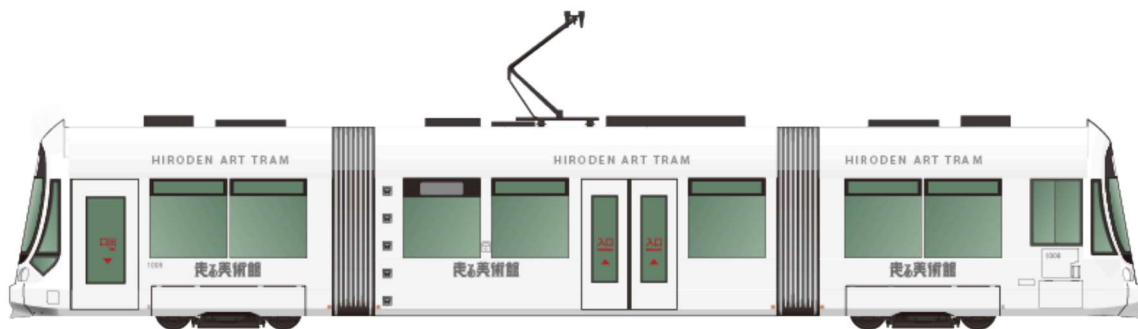
車両

- グリーンムーバーLEX（1018号）

広電-1000系

GREEN MOVER LEX

Scale : 1/10



走る美術館

キャンパスをイメージした真っ白のデザインにロゴをあしらい、どのような芸術作品でも馴染み、まちなかを走る姿そのものも一つの芸術作品になるようなデザインとしました。

運行路線

- **1** （広島駅～紙屋町東～広島港）
- **3** （広電西広島～紙屋町西～広電本社前）
- **5** （広島駅 ～ 比治山下 ～ 広島港）
- **7** （横川駅 ～ 紙屋町西 ～ 広島港）

- ※ 車両検査等により運休する日もあります。
- ※ 固定ダイヤではありませんので、運行時刻は毎日変わります。
- ※ 都合により他の路線を運行する場合があります。

運行開始日



令和 7 年 1 月 28 日

マスコットキャラクター「ひろティー」のぬいぐるみを
1 月から販売中！

このたび、新たに、本学のマスコットキャラクターである、ひろティーのぬいぐるみを 2 サイズ製作しました。ひろティーのデザインは、広島を拠点に国内外で活躍するイラストレーターのカミガキ ヒロフミ氏によるものです。カミガキ氏からは、ぬいぐるみとしてイラストを立体化することをご了承いただき、完成いたしました。

ぬいぐるみのサイズは、30cm と 15cm の 2 種類です。足が動くので、座っている姿も立っている姿も愛らしくなっています。特に、15cm のぬいぐるみはボールチェーンがついており、バッグなどにつけることも可能です。

2025 年 1 月から、東広島キャンパスでは北 1 コープショップと西 2 コープショップで、霞キャンパスでは病院売店およびプラザみどり、広島 JP ビルディング 2F「広島大学きてみんさいラボ」でも販売しており、どなたでも購入できます。

販売価格は、30cm サイズが 4,000 円で、15cm サイズが 990 円（両方とも消費税込価格）です。

また、ご当地キャラクターを通して地方創生を応援するイベント「ゆるバース 2024」では、全国からエントリーしたゆるキャラ 147 体のうち、ひろティーは 15 位と大健闘しました。

このイベントは、2024 年 10 月 26 日までの約 1 か月間で WEB 投票が行われ、11 月 2 日、3 日に石川県の能登歴史公園で開催された「ゆるバース 2024 in のと」でグランプリが決定されました。

【お問い合わせ先】

広報室広報室
MAIL:koho@office.hiroshima-u.ac.jp

HIROSHIMA UNIVERSITY

ひろティー®グッズ



広島大学マスコットキャラクター「ひろティー®」のグッズを製作しました。

「ひろティー®」は、広島大学のシンボルである「フェニックス」をモチーフにしたキャラクターです。

NEW

ひろティーのぬいぐるみができました

スカーフは、
“HIROSHIMA UNIVERSITY”の
刺しゅう入りロゴが入っています。



ボールチェーン
付き

ひろティーぬいぐるみ(小)

¥990(税込)

両手で包み込みたくなるような、
ほっこり可愛らしいぬいぐるみです。
大きさは、約15cm。ぬいぐるみは、
バッグやリュックにつけることができ
ます。あなたの側には、ひろティーが
いつでも一緒。



ボールチェーンは、
ひろティー
カラーの赤色。



ひろティーぬいぐるみ(大)

¥4,000(税込)

お座りできるひろティーが完成しました。
ぬいぐるみは、ぎゅっと抱きしめたくなるよ
うな触りごごち。抱き上げると、ひろティー
の足がぶらぶらします。
大きさは、約30cmです。

販売店舗

【東広島キャンパス】
広島大学消費生活協同組合

・北1コープショップ
TEL: 082-423-8285
E-mail: service@hucoop.jp
・西2コープショップ
TEL: 082-424-0920
E-mail: shophonbu@hucoop.jp
広島大学消費生活協同組合HP



【霞キャンパス】
・広島大学病院（入院棟2階売店、診療棟3階売店）
・霞会館 プラザみどり
一般財団法人緑風会 総務部
TEL: 082-252-3520

緑風会HP



【その他】
広島大学きてみんさいラボ
広島市南区松原町2番62号
広島JPビルディング2階
TEL: 082-207-1764

きてみんさいラボHP



令和 7 年 1 月 28 日

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業
(通称 J-PEAKS)」の取組に関する報告

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(通称 J-PEAKS)」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線(UV)領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取組みについて、最新情報をお知らせします。

(1)重点拠点の受賞等

J-PEAKS では融合研究領域を中心に重点拠点を設置し、最先端の研究活動を展開しています。この度、重点拠点のうち、半導体産業技術研究所および放射光科学研究所において、以下の受賞がありましたので、お知らせします。

◆セミコンジャパン 2024^(※1) で寺本研究室がアカデミア Award 受賞

「東レエンジニアリング賞」

半導体産業技術研究所 寺本 章伸所長の研究室

発表タイトル:「省エネルギー社会実現のための次世代デバイス・技術に関する研究」

全 36 研究室の応募の中から、上記の賞を受賞しました。なお、セミコンジャパン 2023 では、同研究所の黒木研究室が最優秀賞を受賞しており、2 年続けたの快挙となります。

◆日本放射光学会で奥田太一副所長、角田一樹特任准教授が学会賞受賞

「高良・佐々木賞」^(※2)

放射光科学研究所 奥田 太一 副所長

発表タイトル: 高効率光電子スピン検出器の開発とその世界的普及

「奨励賞」^(※2)

放射光科学研究所 角田 一樹 特任准教授

発表タイトル: スピン・角度分解光電子分光を用いたワイル磁性体薄膜の電子構造の解明

^(※1) セミコンジャパンのアカデミア Award

「セミコンジャパン」は、SEMI ジャパンが主催し、毎年 12 月に東京で開催される半導体に関する国際展示会です。年に一度の一大イベントとして半導体産業を盛り上げ、これまで 45 回以上の開催実績があります。アカデミア Award は、大学・高等専門学校を対象とした半導体関連の優れた研究成果を表彰する賞であり、2022 年に創設され、今年は 3 回目の開催となります。

(※2)

日本放射光学会の「高良・佐々木賞」は、放射光科学分野を先導してこられた元日本放射光学会長である故高良和武氏、故佐々木泰三氏の遺徳をしのび、我が国において優れた研究成果をあげた中堅研究者に授与されます。また、「奨励賞」は、放射光科学分野において優れた研究成果をあげた若手研究者に授与されるものです。

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的としている。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。広島大学は 2023 年度に採択され、2028 年度までの 6 年間で総額 55 億円の財政支援が予定されている。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室 未来共創科学研究本部 研究戦略部 研究戦略グループ 前田 TEL:082-424-5656 Mail: gakujutu-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp



第 175 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 2

令和 7 年 1 月 28 日

「地方大学における理工系女性研究者が働きやすく働きがいのある研究環境づくりのための調査分析」令和 6 年度総括シンポジウム
「提言書の実現へ向けて」を開催します（3/4 開催）

広島大学は、文部科学省科学技術人材育成費補助事業 令和 5 年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（調査分析）に採択され、島根大学と共同で地方大学における理工系女性研究者支援に関する 2 年間の調査事業を実施してまいりました。

この度、下記のとおり総括シンポジウムを開催しますので、関心のある方は奮ってご参加ください。（参加料は無料です。）

今回のシンポジウムは、これまでの調査分析結果の概要を報告するとともに、政策提言書の案を発表するために開催するものです。

記

【日時】2025 年 3 月 4 日（火）13:00～16:15

【会場】広島大学フェニックス国際センター MIRAI CREA（ミライクリエ）
/Zoom 配信（ハイブリット開催）

【参加対象者】大学教職員・学生、自治体・企業関係者等、関心のある方

【参加費】無料

【言語】日本語、英語（同時通訳あり）

【定員】現地：60 人、オンライン：100 人程度

【申込方法】

下記 URL、または添付のフライヤーに記載された QR コードからお申し込みください。<https://forms.office.com/r/vzNt5vd5Wa>

【プログラム】

- ・事業概要報告
河野 美江（島根大学副学長）
- ・広島大学と島根大学における女性研究者ニーズ調査について
- ・海外調査報告（対象国：米国、スウェーデン、ドイツ、韓国）

- 「地方大学における理工系女性研究者が働きやすく働きがいのある研究環境づくりのための提言書（案）」概要説明
石田 洋子（広島大学副学長）
- 「日本における女性研究者支援への取組並びに本事業提言書（案）への助言」
エウセビオ・スコルナバッカ（アリゾナ州立大学教授）
- 来賓総評 山村 康子（科学技術振興機構（JST）プログラム主管）

【お問い合わせ先】

広島大学学術・社会連携室 ダイバーシティ調査分析TF TEL:082-424-7616 MAIL: ura-women@office.hiroshima-u.ac.jp
--

「地方大学における理工系女性研究者が働きやすく 働きがいのある研究環境づくりのための調査分析」

令和6年度総括シンポジウム

「提言書の実現へ向けて」

広島大学及び島根大学は文部科学省の上記補助事業に採択され、2023～2024年度の2年間、地方大学における女性研究者支援のあり方について共同調査事業を実施しています。

本事業の終了時に開催する今回の総括シンポジウムでは、調査分析タスクフォースメンバーが海外の優れた取組について調査・分析した結果、並びに広島大学・島根大学における女性研究者支援の現状と課題、女性研究者のニーズ調査について報告し、本事業の成果品である提言書(案)を紹介させていただきます。

そのうえで、本事業の1年目から協力いただいた米国アリゾナ州立大学のエウセビオ・スコルナバッカ教授に、米国での経験を踏まえて提言書を中心に日本の大学の取組についてご助言をいただき、提言書をより有益なものとしします。

2025年3月4日(火)13:00-16:15

広島大学ミライクリエ2階大会議室(東広島キャンパス)

Zoom配信とのハイブリッド開催

参加対象者：大学教職員・学生、自治体・企業関係者等、関心のある方

使用言語：
日本語・英語
(同時通訳あり)

プログラム（敬称略）

- | | |
|--|--|
| 13:00◆ 開会挨拶
広島大学長 越智 光夫 | |
| 13:05◆ 来賓挨拶
文部科学省科学技術・学術政策局
人材政策課人材政策推進室 室長
高見 暁子 | |
| 13:10◆ 事業概要報告
島根大学副学長（SDGs・ダイバーシティ担当）
河野 美江 | |
| 13:20◆ 女性研究者ニーズ調査について
広島大学ダイバーシティ研究センター長
大池 真知子 | |
| 13:40◆ 海外調査報告
タスクフォースメンバー
広島大学：
石田洋子、フंक・カロリン、渡邊恵、崔善境
島根大学：
河野美江、香川奈緒美、丸山実子 | 14:55◆ 「地方大学における理工系女性研究者が
働きやすく働きがいのある研究環境
づくりのための提言書(案)」概要説明
広島大学副学長（ダイバーシティ担当）
石田 洋子 |
| 14:40◆ 休憩 | 15:10◆ 「日本における女性研究者支援への取組
並びに本事業提言書（案）への助言」
アリゾナ州立大学教授
エウセビオ・スコルナバッカ |
| | 15:40◆ 参加者及び発表者との質疑応答 |
| | 16:00◆ 来賓総評
科学技術振興機構（JST）プログラム主管
山村 康子 |
| | 16:10◆ 閉会挨拶
広島大学理事・副学長（教育・平和担当）
鈴木 由美子 |
| | 16:15◆ 閉会 |

◆◆◆ お申し込みは以下のURLまたは二次元コードから ◆◆◆

<https://forms.office.com/r/vzNt5vd5Wa>

申込締切：2025年2月27日(木)17:00



第 175 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 3

令和 7 年 1 月 28 日

**「放射線災害・医科学研究拠点」が
国際シンポジウムとワークショップを開催します**

広島大学、長崎大学、福島県立医科大学によって平成 28 年 4 月に設置された拠点ネットワーク「放射線災害・医科学研究拠点」は、下記のとおり「第 9 回国際シンポジウム」、「第 6 回ワークショップ」を開催します。

第 9 回国際シンポジウム（主管校：福島県立医科大学）

- ◆日 時：令和 7 年 2 月 19 日（水）10：30～18：20
- ◆場 所：福島県立医科大学 福島駅前キャンパス 多目的ホール
（福島市栄町 10 番 6 号）
- ◆参加対象者：主に研究者 ◆参加費：無料
- ◆定 員：なし（会場定員 400 人） ◆言 語：英語（同時通訳なし）

「Innovation in Radiation Disaster Medical Science（放射線災害医科学におけるイノベーション）」をテーマに、台湾、韓国、アメリカなどの研究者を交え、講演やセッション、ポスター発表を行います。

放射線や関連諸科学の分野で世界的に著名な研究者による最先端の学術成果を踏まえ、更なる放射線災害・医科学研究の学術的基盤の確立を目指します。

第 6 回ワークショップ（主管校：福島県立医科大学）

- ◆日 時：令和 7 年 2 月 20 日（木）9：00～11：35
- ◆場 所：福島県立医科大学 福島駅前キャンパス 多目的ホール
（福島市栄町 10 番 6 号）
- ◆参加対象者：主に研究者 ◆参加費：無料
- ◆定 員：なし（会場定員 400 人） ◆言 語：日本語

全国の関連研究者から公募した共同利用・共同研究課題や 3 拠点機関が大学の枠を超えて連携し新たな課題に取り組んでいるトライアングルプロジェクトの成果発表に加え、拠点ネットワーク間の緩やかな連携に関する講演発表を行います。

【お問い合わせ先】

広島大学霞地区運営支援部総務グループ
放射線災害・医科学研究拠点本部事務局
Tel： 082-257-5186
Fax： 082-255-8339

*The 9th International Symposium of the Network-type Joint Usage/
Research Center for Radiation Disaster Medical Science*

- Innovation in Radiation Disaster Medical Science -

FEBRUARY 19, 2025

*Multipurpose Hall, Fukushima Medical University
School of Health Sciences*

***Keynote Lecture** Cheng, Ming Tai (Taiwan)*

*Low dose radiation effects and
health risk study*

*Session 1 / **Naduparambil K Jacob(USA)**
Michiaki Kai*

Radiation casualty medicine

*Session 2 / **Nobuyuki Hirohashi**
Hiroyuki Hanada*

*Social impact of a radiation disaster and
radiological protection studies*

*Session 3 / **Ran Zwigenberg(USA)**
Masaharu Tsubokura*

Medical radiation research

*Session 4 / **Kang, Keon Wook(Korea)**
Tadashi Watabe*

【主催】 共同利用・共同研究拠点ネットワーク／放射線災害・医科学研究拠点
広島大学原爆放射線医科学研究所／長崎大学原爆後障害医療研究所
福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター

【後援】 放射線被曝者医療国際協力推進協議会 (HICARE)
長崎・ヒバグシャ医療国際協力会 (NASHIM)

お問い合わせ先／Contact Information

福島県立医科大学医療研究推進課研究推進係

Fukushima Medical University Medical Research Promotion Division Research Promotion Section

☎ 024-547-1794 ☎ 024-581-5163 ✉ rs@fmu.ac.jp 🌐 <https://housai.hiroshima-u.ac.jp/>



Innovation in Radiation Disaster Medical Science

（放射線災害医科学におけるイノベーション）

日時：2025年2月19日（水） 10:00～

会場：福島県立医科大学 福島駅前キャンパス 多目的ホール

◆基調講演：Cheng, Ming Tai（主任医師,国立台湾大学,台湾）

◆Session1：低線量放射線の影響と健康リスク研究：

【演者】Naduparambil K Jacob（教授,オハイオ州立大学,米国）

甲斐 倫明（かい みちあき）（教授,日本文理大学）

◆Session2：放射線障害医学

【演者】廣橋 伸之（ひろはし のぶゆき）（教授,広島大学）

花田 裕之（はなだ ひろゆき）（教授,弘前大学）

◆Session3：放射線災害の社会的影響と放射線防護研究

【演者】Ran Zwigenberg（准教授,ペンシルベニア州立大学,米国）

坪倉 正治（つばくら まさはる）（主任教授,福島県立医科大学）

◆Session4：医療放射線研究

【演者】Kang, Keon Wook（教授,ソウル国立大学,韓国）

渡部 直史（わたべ ただし）（講師,大阪大学）

【共催】共同利用・共同研究拠点ネットワーク／放射線災害・医科学研究拠点

広島大学原爆放射線医科学研究所／長崎大学原爆後障害医療研究所

福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター

【後援】放射線被曝者医療国際協力推進協議会（HICARE）

長崎・ヒバクシャ医療国際協力会（NASHIM）

お問い合わせ先／Contact information

福島県立医科大学医療研究推進課研究推進係

第6回 放射線災害・医科学研究拠点 ワークショップ

日時：令和7年2月20日（木）

場所：福島県立医科大学 福島駅前キャンパス 多目的ホール

9:00 - 9:05 【開会挨拶】放射線災害・医科学研究拠点 本部長 東 幸 仁

9:05 - 9:10 【来賓挨拶】文部科学省研究振興局 大学研究基盤整備課 課長補佐
熊 谷 果奈子

共同利用・共同研究課題

（座長：工 藤 崇（長崎大学））

9:10 - 9:25 「アルファ線放出核種を包括したラジオセラノスティクス用プローブ開発
研究」

（重点プロジェクト課題⑥ RI の医療への応用）

金沢大学 新学術創成研究機構 教授

小 川 数 馬

9:25 - 9:40 「放射線発がんにおけるがん微小環境の役割」

（福島原発事故対応プロジェクト課題① 低線量・低線量率放射線の影響に関する研究）

国立保健医療科学院 生活環境研究部 上席主任研究官

志 村 勉

9:40 - 9:55 「放射線照射後にごん細胞で活性化される誤りがち修復経路を標的とした
抗がん剤スクリーニング法の開発」

（重点プロジェクト課題② 放射線発がん機構とがん治療開発に関する研究）

産業医科大学 産業生態科学研究所 放射線衛生管理学 講師

香 崎 正 宙

9:55 - 10:10 「がん低酸素を標的とした核医学診断・治療法の開発」

（重点プロジェクト課題⑥ RI の医療への応用）

京都大学 医学部附属病院 放射線部 講師

志 水 陽 一

トライアングルプロジェクト

(座長：鈴木 悟 (福島県立医科大学))

- 10:10 - 10:30 「災害対応者の業務姿勢に影響を与える因子の検討
-多様な職種におけるコミュニケーターの育成を目指して」
(テーマ3 放射線災害の社会影響と放射線防護)
福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター 教授

長谷川 有史

- 10:30 - 10:50 「福島県における小児甲状腺がん発症者の末梢血リンパ球を用いた転座型染色体解析による生物学的線量評価」
(テーマ1 低線量被ばく影響とリスク研究)
福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター 教授

坂井 晃

特別講演 (拠点ネットワーク間の緩やかな連携)

(座長：東 幸仁 (拠点本部長))

- 10:50 - 11:10 「共同利用・共同研究拠点制度におけるネットワークに取り組む意義」
物質・デバイス領域共同研究拠点 拠点コーディネーター
大阪大学 産業科学研究所 特任教授 垣花 真人
- 11:10 - 11:30 「生体医歯工学共同研究拠点；医歯工連携の取り組み」
生体医歯工学共同研究拠点 本部長
東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所 所長 影近 弘之
- 11:30 - 11:35 【閉会挨拶】放射線災害・医科学研究拠点 副本部長 石川 徹夫
- 11:35 - 集合写真撮影

令和 7 年 1 月 28 日

森戸国際高等教育学院 西條 結人 准教授が
キルギス国立総合大学学長表彰を受賞しました。

本学森戸国際高等教育学院^(※1)の西條 結人(さいじょう ゆうと)准教授が、キルギス国立総合大学長より「キルギス国立総合大学学長表彰」を授与されました。授賞理由は、キルギス共和国と日本の友好関係の発展、大学間の関係強化への個人レベルでの貢献、国際関係学・東洋学部教員・大学院生への講義の実施が評価されたことによるものです。

西條准教授は、長年にわたりキルギス共和国の大学と日本語教育に関する研究交流を行っており、このたび令和6年12月20日にキルギス国立総合大学において専門家3人による特別講演会を企画、開催しました。西條准教授はこれらの功績を評価され、講演会後に執り行われた授与式にて、キルギス国立総合大学のチョントーエフ・ドグドゥルベック学長代理の国際関係学・東洋学部国際関係論プログラム長のバイブートワ・ルスビュビュ教授より表彰状と感謝状、記念品を授与されました。



西條准教授(左)とキルギス国立総合大学のバイブートワ教授(右)

(※1) 森戸国際高等教育学院

本学の学内共同教育研究施設として、本学の国際化推進機構の中核組織を担い、国際化の推進・実施を支援し、国際交流活動の推進を図ることを目的に、平成30年10月に設置。

キルギス国立総合大学 HP

<https://www.knu.kg/ky/ru/archives/12163>

【お問い合わせ先】

森戸国際高等教育学院 准教授 西條結人（さいじょう ゆうと）

[TEL:082-424-6284](tel:082-424-6284)

MAIL:ysaijo@hiroshima-u.ac.jp

国際部国際室グローバル化推進グループ（総務担当）土居（どい）

[TEL:082-424-4345](tel:082-424-4345)

MAIL: kokusai-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp